

# 外部評価シート一覧表

事業名 農村公園維持管理事業

平成28年度 第3回行政評価委員会  
資料1

	村松会長	望月副会長	後藤委員	野々山委員	富田委員	鈴木委員
<b>妥当性</b> 市が税金を投入して実施することが妥当か	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき  維持管理の対象を考えるべき	妥当である  農村公園は住民の憩いの場であると共に、地震等の有事の際に避難場所としての活用が期待できるため。	妥当である	妥当である	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき  一部を除いて利用度が低い。
<b>有効性</b> 廃止・休止した場合に市民が影響を受けるか	一部の市民に影響がある	多くの市民に影響がある  農村公園は住民の憩いの場であると共に、地震等の有事の際に避難場所としての活用が期待できるため。	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある	特に影響はない  非常時における広場としては有効である。
<b>効率性(1)</b> サービスを低下させずに事業費を削減できないか	削減の余地がある	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	削減の余地がある  遊具は市は関与せず、地元にかかせればよい。
<b>効率性(2)</b> 外部委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか	外部委託や統合により削減の余地がある	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい
<b>公平性</b> 受益者負担は適正か	住民負担を減らすべきだ	受益者がいない	適正である	受益者がいない	適正である	住民負担を増やす(設定する)べきだ  地元へ全面移管してよい。
<b>総合評価</b>	改善	現状維持	現状維持	統合	改善	改善
<b>評価の理由 意見・提言</b>	利用状況が不明であり、判断できない点がある。避難場所として利用可能であると考えられるが、改善の余地がある。	住民の憩いの場であると共に、地震等の有事の際に避難場所としての活用が期待できるため、今後も維持管理が必要である。また、「農村公園」の名称に関しては、検討の余地があると思われる。		当該事業については、補助目的も達成されたと思われるので、この際、見直しを行い必要な公園については、ほかの公園管理事業(児童遊園等・公園維持・都市公園)へ統合を図り、維持管理されたい。	1. 名称を農村公園から地元へ密着した名称にしてはどうか。 2. 遊具はできる限り最小にすべき(空閑地の確保)	将来は、名称を始めとした公園・広場と統合した運営が望まれる。